

# アトピー性皮膚炎に対する 乳酸菌生成エキスの適用2症例

■ 土屋病院（郡山市） 土屋繁裕 医師



土屋 繁裕先生

## 【『乳酸菌生成エキス』飲用前】

患者2名(患者A・9歳男児、患者B・7歳男児)は、ともに数年前より、全身にかゆみを伴う皮疹が生じた。内服・外用による治療を受けたが、症状は一進一退を繰り返し、大きな改善がみられなかった。

そのため、患者2名ともに2002年5月2日から『乳酸菌生成エキス』を1日10cc(1本)飲用と外用による治療を開始した。

『乳酸菌生成エキス』服用前のIgE値は、患者A=2380ng/ml、患者B=2710ng/mlであった。

## 【『乳酸菌生成エキス』飲用後】

患者2名ともに飲用開始より皮疹は徐々に改善していき、2週間程度で皮疹がみられなくなった。飲用2ヶ月目のIgE値を測定したところ、患者A=1150ng/ml、患者B=1810ng/mlと改善がみられた。また一年以上経過した現在も良好な状態を保っている。

Table1. 患者A(9歳男児)の血液検査結果

	飲用前	飲用1ヶ月	飲用2ヶ月
IgE	2380	1420	1150
WBC	8.7	5.5	5.9
Hb	12.4	12.2	12.5
Lymph	46.1	45.1	45.1

Table2. 患者B(7歳男児)の血液検査結果

	飲用前	飲用1ヶ月	飲用2ヶ月
IgE	2710	1940	1810
WBC	10.7	9.2	5.9
Hb	13.4	12.2	13.3
Lymph	40.6	29.7	43.2

Fig.2. 患者A(9歳男児)における『乳酸菌生成エキス』飲用による背部アトピー性皮膚炎の状態変化



1ヶ月



Fig.1. IgE値(ng/ml)の変化

